

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表:令和7年3月31日

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービス Kきつず

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	2		子ども達が動きやすいスペースである。/利用定員を超えてしまっている日もある
	②	職員の配置数は適切である	2	3	1	日によって少なく感じるが、それぞれ連携し合っている。/適切だが、足りないと感じる時もある
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	1		過ごしやすい空間である。
業務 改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	2	3	1	あまりできていないが、積極的に行うようにする。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5		1	保護者の意向をしっかり聞き、行っていく。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	1		公開して業務改善している
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	1	1	業務改善の為にしっかり行っていく。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6			色々な研修を受けている。
適切 な 支 援 の 提 供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6			一人一人の計画をしっかりと作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	1		子どもに合ったアセスメントをしている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	6			職員がチームになって行っている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6			同じ内容にならないように考えている。/体を動かすものから指先を使うものまで幅広く行っている
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6			状況によって課題をしている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6			状況によって個別と集団で行っている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の内容や役割分担について確認している	5		1	その日の様子を話し合っている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4		2	勤務が短時間なのでできないが、気付き等発信している。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6			正しく記録して改善につなげている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6			モニタリングを行い、見直しをしている。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	6			ガイドラインに沿って支援を行っている。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6			有資格者が会議等を行っている。/一貫して児発管が参加している
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	5	1		それぞれの情報をしっかり伝え合っている。/たまにすれ違って、下校時間に迎えに行けない事がある。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	3		1	各種機関と連携している。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6			情報共有が相互にできている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5		1	それぞれとの連携を図り、支援している。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	1		助言や研修を受けてきちんと支援している。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	3	1	1	色々な子どもとの交流ができている。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	2	1	2	あまり参加できていないので、少しずつ関わっていく。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4	1		共通理解をして、支援している。
保護者への説明責任等	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	1	2	もっとトレーニングをして支援していく。
	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5		1	説明する機会が少ないが、少しずつ行っていく。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5		1	関わりは少ないが、相談されたらしっかり対応していく。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	1	1	保護者にはその都度行っている。
	㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6			子どもや保護者の対応はしっかり対応している。
㉞	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5			活動や連絡をその都度行っている。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	⑳	個人情報に十分注意している	6			取り扱いに気を付けている。/たまに危うい時がある(特定の職員だが…)
	㉑	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	1		一つ一つを配慮して行っている。
	㉒	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	2		地域の方との関わりも行っている。
非常時等の対応	㉓	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	1		マニュアルに沿った対応をしている。
	㉔	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6			訓練もその都度行っている。
	㉕	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6			しっかり研修を受けて行っている。
	㉖	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	1		子どもの状況に合わせて支援している。
	㉗	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	1		医師の指示通り行っている。
	㉘	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	1		職員同士で対応している。

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。